

令和7年度入学生 S・F さん

（１）税理士の道を目指した理由

前職は生命保険会社に勤めていたのですが、仕事を通じて多くの税理士の先生とお付き合いがありました。そこで、先生方が取引先や困っているお客様から深く信頼され、「頼られている姿」を見て、自分も頼られるような仕事をしてみたいと思ったのが1つです。あとは定年のない仕事ですから、一生かけて情熱を注げる点も魅力でした。もちろん、家族がいる中での決断には非常に勇気が必要でしたが、37歳の時に一歩踏み出しました。

（２）平成国際大学大学院を選んだ理由

現在の勤務先の代表や、知人の税理士の先生方にこちらの卒業生が多く、安心感があったのが大きいですね。大学院選びで一番不安だったのは「修了しても税理士試験免除が受けられなかったらどうしよう」ということでしたが、実際に活躍されている先輩方の姿を見て、その不安が解消されました。それと、「立地」ですね。職場も自宅も埼玉県内なので、17時半に仕事を終えてから18時にはサテライトに到着できる現在の環境は、仕事と両立する上で非常にありがたいです。

（３）研究テーマ

実務に直結する内容にしたいと考え、「税務調査」をテーマにしています。具体的には、税務調査における「事前通知」に焦点を当て、平成23年度の国税通則法等の改正前後で何が変わったのかを研究しています。特に、事前の連絡なく調査官がやってくる「無予告調査」について、法的にどういう場合に許され、どういう場合にダメなのかという論理構成を、実務に精通した先生のご指導のもとで深掘りしています。

（４）学びの中で、最も印象に残っているエピソード

単に講義を聞くだけでなく、発表に対して全員で意見を戦わせたり、模擬裁判を行ったりと、参加型の学びが非常に刺激的です。社会人になってから、仲間と切磋琢磨して学ぶ機会はなかなかありませんから。また、税法だけでなく民法や商法、憲法など幅広く法律を学べることは、将来、会社の経営者の方々と渡り合う上でも大きな財産になると感じています。

(5) 今後の目標

A 5 現在は税理士試験の3科目に合格しているので、教授のご指導のもと、しっかりと修士論文を書き上げて、確実に税理士資格を取得することが目標です。その先は、やはり原点である「お客様から頼られ、必要とされる税理士」になりたいですね。

(6) 受験生へ一言

大学院進学は、単なる「税理士試験科目免除のため」と思われがちですが、実際に入ってみるとたくさんの学びや、志を同じくする仲間との出会いがあります。仕事と両立をして、大学院で学ぶことは非常にハードな生活ですが、得られるものがとても多い場所だと伝えたいです。